

6月25日 3年校外学習（三恵の大ケヤキ，法善寺，安藤家住宅）

文化財課の後藤様の案内のもと，若草・甲西地区を見学してきました。

最初の見学地である三恵の大ケヤキでは，その大きさと木を守るための工夫に驚くばかりでした。樹齢1000年を超えると言われるケヤキは，「山梨県で一番大きい木」だそうです。太い幹は2つに割れ，中が空洞化しています。この木を守るために①鉄柱で枝を支えている②柵で囲んで根を張りやすくしている③国の指定記念物に指定し，保護している④幹が腐らないように穴をふさいでいる⑤道路をブロックにして根に水がしみこむようにしているということがわかりました。子どもたちは，大ケヤキをよく見てスケッチしていました。



2つ目の見学地は，法善寺です。鐘，山門やお堀，不動明王の様子を見た後，住職様のお話を聞くことができました。「もともと加賀美遠光公のお屋敷があったところに，800年前（鎌倉時代に）引っ越ししてきました。とても大きく歴史のあるお寺です。」と教えていただきました。



最後に安藤家住宅に行きました。最初に，学習シートをもとに建物の謎を探すこともでき，楽しみながら学習しました。その後，シートの写真の場所を確認（答え合わせ）しながら，かやぶき屋根の家や長屋門，土間，土蔵，トイレ，茶室，庭園などを315年前の住宅の様子を順に回っていきました。安藤家住宅の七夕祭りにちなんで，七夕の短冊に願いを書き，竹に結び付けました。

